

ガバナー補佐方針

国際ロータリー第 2530 地区
2026-27 年度 県南分区ガバナー補佐
佐藤 健吾（東白川RC）

このたび、国際ロータリー第 2530 地区 県南分区ガバナー補佐を拝命いたしました、
東白川ロータリークラブ 佐藤 健吾と申します。

長い歴史と伝統を持つロータリーにおいて、この大役を務めることに身の引き締まる思いで
あると同時に、多くの皆様とのご縁に心より感謝申し上げます。

ロータリーは、「超我の奉仕」の理念のもと、人と人とのつながりを大切にしながら、地域社会
に希望と安心を届けて参りました。時代が大きく変化する今だからこそ、私たちは改めて思い
やりと信頼、そして奉仕の心を大切にしなければならないと感じております。

私はガバナー補佐として、各クラブの歴史や個性を尊重しながら、会長・幹事の皆様をはじめ
すべての会員の皆様が誇りと喜びを持って活動できる環境づくりに努めて参ります。そして、
地区とクラブの橋渡しを担いながら、クラブ同士のつながりをさらに深め、互いに支え合い、
高め合える一年にしていく事が、2026-27 年度方針として金田昇ガバナーが掲げる「連携と
連帯で継続可能なインパクトを生み出そう」につながる事と考えます。また、会員増強や公共
イメージの向上、奉仕活動の充実など、地区の目標達成に向けても現場の声に耳を傾けなが
ら行動力を持って取り組んで参ります。

変化を恐れず、しかしロータリーの本質を見失うことなく、一步一步着実に前へ進んでいき
たいと思います。

ロータリーの魅力は、人との出会いにあります。奉仕を通じて心がつながり、そのつながりが
地域を動かし、未来を育てていく。その力を皆様と共に信じて活動していきたいと思います。

一年間、皆様の温かいご理解とご協力、そしてご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げ
ます。